

# 保健・福祉研究 方法論

看護福祉学部 社会福祉学科

法木左近

本日のテーマ

研究の目的

なぜ、研究をするのか？

# 研究とは

物事を詳しく調べたり、深く考えたりして、事実や真理などを明らかにすること。また、その内容。

少し漠然としている

# 研究とは

一言で言えば、研究は「創造」である。**新しい**ものを作り出すことである。

# 研究とは

「疑い」  
「観察し」  
「考える」  
こと

「社会福祉学」は実践の学問である

「看護学」は実践の学問である

# 光線療法

- ビリルビンが光線によってサイクロビリルビンという物質に化学変化させ、尿中に排泄を促す光線療法を行うことにより、**核黄疸**を発症する子は減少した。
- 光線療法と言って保育器の中に赤ちゃんを裸にして寝かせ、青い光を当てる。この光は紫外線のようなものでこれを浴びると体内のビリルビンが破壊されやすくなる。赤ちゃんの目を守るため目に白い覆いをして行う。



## 光線療法





# 「社会福祉研究」と「看護研究」

生の声や実体験を解体し、理屈や分析を持ち込んで、これらの体験を普遍的な価値観に高めていく行為

# 「社会福祉研究①」

社会福祉という現実の世界を対象として、ここでなされていること、その結果生じていることに、何らかの疑念をはさみ、

# 「社会福祉研究②」

一定の研究的な手続きに従って現実をよく観察し、それらの原因や因果関係等を考え、合理的な批判や説明を試みようとする一連の作業である。

研究とは、なんらかの事実や事象を、根拠を持って明らかにしていく作業である。

※ 従って、**研究を始める際**には、「自分はこの研究で何を明らかにしようとしているのか」を明確にして臨む必要がある。

※ 従って **ある程度、知る際**には、「自分はこの研究で何を明らかにしたか」が明確になっていなければならない。

研究とは、なんらかの事実や事象を、根拠を持って明らかにしていく作業である。

※ 従って、**研究を始める際**には、「自分はこの研究で何を明らかにしたいのか」「自分が持っているのか」を明確にしていく必要がある。

可能であれば、

※ 従って、**研究を終える際**には、「自分はこの研究で何を明らかにしたか」が明確になっていなければならない。

# よいリサーチクエスチョンを確認するための チェックポイント FINER

- F Feasibility (実現可能性) 実際に調査や実験などによって明らかにできるようなリサーチクエスチョンでるか？
- I Interesting (興味深さ) 学的に興味深いものであるか？
- N Novel (新規性) 新しい、まだ誰も明らかにしていないリサーチクエスチョンであるか？
- E Ethical (倫理性) 調査や研究を実施するにあたって倫理的に問題はないか？
- R Relevant (必要性) リサーチクエスチョンに対する答えを明らかにすることが、他のヒトや社会に必要とされているか？

# リサーチクエスチョンの疑問を要素に分解すると PICO/PECO

- P Population (参加者) Patient (患者) 対象は誰か？
- I/E Intervention (介入) どのような介入・治療に注目するのか？  
どのような要因に注目するのか？ Exposure (暴露) 注目する要因
- C Comparison (比較対象)、Control (対照) IやEで設定した介入や暴露と比較するのはどのような介入や暴露であるか？
- O Outcome (アウトカム・結果) 介入によって変わったり、注目する要因の有無や状態によって異なったりすると考えられる対象者の状態はなにか？
- T Time (時間) 調査を実施する期間や測定時点

# 研究ノート

- 実験する場合は、実験ノート、ラボノートと呼ばれる。
- 研究ノートの書き方に正解はない。が、
- 時系列が大事なので、ルーズリーフは避ける。
- 記載は、ボールペンなど消えない、修正できないもので書く。
- 鉛筆での記載やページを破り取るなどはNG
- (ページ番号の入ったノートを使用することもある)
- 日付 必ず 年から記載(2021.4.22.)と2021を書くこと。
- 思ったこと、考えたこと、調べたこと、など



# 本日のテーマ

科学的とは何か？

# 「科学的である」ための要件

## 1. 実証性

経験的事実・既存の知識と整合する  
比較ができる、再現性がある

## 2. 客観性

権威・直感・経験の多少と無関係  
人（言う人、聴く人）を選ばない

## 3. 公開性

手の内を見せ、批判・反論を受入れる

# 「△△療法」の有効性を 「科学的に」実証するには…

## 1. 実証性

非治療例と比較する  
症例数を増やす

## 2. 客観性

有効率の高さを量的（数字）に示す

## 3. 公開性

無効例、自然治癒例も報告する

# 「△△療法」の有効性を 「科学的に」実証するには…

## 1. 実証性

これに沿うなら、

お祈りの有効性を

2. 科学的に実証できる

かもしれない

## 3. 公開性

無効例、自然治癒例も報告する

結論を言うと…

科学とは、  
「実証手続き」  
の一種である。

# 思想と科学を混同しない

## 思想

どこかに**ドグマ**が存在し得る。

「…が正しい」

**ドグマ**：独善的な説

価値・判断も入る。

「…が善い」、「…であるべきだ」

イデオロギー = アイデア + ログス

思想

論理

## 科学

徹底して**事実**に根拠を置く。

「…である」**それだけ**。

# 科学とは

物事を調査し、調査結果を整理し、新たな知見を導き出し、知見の正しさを立証するまでの手続きであり、かつそれがある一定の基準を満たしているもののことである。

# 科学と経験



言われませんか？

経験ではなく、  
科学的な考え方を  
しなければいけません。

これは間違い

# 科学は実証

経験

実証

仮説

個別的経験  
特殊な経験  
ではなく、  
一般的経験  
普遍的経験  
にもとづき

真？  
偽？

科学の礎は  
経験である

# 科学とは？

普遍化された経験知の総体



1. 事実(=経験)から出発し、
2. ドグマを排除し、
3. 合理的な推論を用いる。

「約束に従って実証しよう」  
という、一種の手続き

# 「科学的である」ための要件

## 1. 実証性

経験的事実・既存の知識と整合する  
比較ができる、再現性がある

## 2. 客観性

権威・直感・経験の多少と無関係  
人（言う人、聴く人）を選ばない

## 3. 公開性

手の内を見せ、批判・反論を受入れる

ただし、

「科学的な主張だから正しい」と、言うてはいけない。

科学は万能でない！

科学も人も嘘をつく！

# 小保方氏のSTAP細胞



# なぜ、研究をするのか？

- ① 社会福祉研究は、社会問題の解決や福祉実践の改善に役に立つと思われるから

ひとりよがりな実践  
個別的な経験



客観的なデータ



# なぜ、研究をするのか？

- ② 社会福祉研究をしたいから。やらずにはいられないから。

# 研究論文(原著論文)とは

- 論文は「問題解決」の過程。 次のような構成が必須。
  - 問題提起： 背景
  - 解答を得るためのアプローチ： 材料・方法, 結果(図表も含む)
  - 問題に対する解答： 考察・結論
- 
- 当然このような着眼で, 背景調査や実験計画の立案もすすめます。
  - 読み手に分かりやすく表現すべきもの。
  - 多くのひとに読まれてこそ, 研究の意義が高まる
  - 図表こそが論文のエッセンス。 優れた論文ほど, 図表をながめれば概略がわかるように表現されている。

先行研究を知る

先人に学ぶ

詳しくは次週